



株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

2024年3月期 通期決算説明会

代表取締役社長 CEO 山本靖則 | 2024年5月13日

01 決算概要

連結業績

- 売上高 **5,000億円** を突破 : 5,119億円
- 営業利益 **700億円** を突破 : 728億円
- 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益
全て **4期連続過去最高を更新**

重点機種

- **計測重点機種** :
海外の製薬、臨床、環境分野を中心に伸長、
合計で10%成長
- ターボ分子ポンプ (TMP) :
半導体向けの減少をグリーン向けが補い **3%成長**

*計測重点機種3機種 : LC(液体クロマトグラフ)、MS(質量分析システム)、GC(ガスクロマトグラフ)

セグメント別

- 売上高
計測が過去最高を更新し牽引
* +236億 (+7%) 成長の3,383億円
- 営業利益
産業・航空の増益が貢献

地域別

- **全地域で増加** : 為替の追い風もあり
- 北米 : 前半の遅れを製薬・PFAS案件でカバー
- **欧州** : **計測、医用、産業で増加**
- 中国 : 市況悪化の影響を受け厳しく推移
- インド : 製薬向けでLC,MSが増加

損益計算書

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- ・売上高5,119億円、営業利益728億円（営業利益率14.2%）、経常利益769億円、当期純利益570億円
- ・次の成長に向けた投資を積極的に推進、研究開発費は13%増の215億円（売上高研究費率4.2%）

売上高
前年同期比：+297億円/+6%
5,119億円

営業利益
前年同期比：+45億円/+7%
728億円

営業利益率
前年同期比：+0.1pt
14.2%

当期純利益
前年同期比：+50億円/+10%
570億円

	単位：億円	通期		前年同期比	
		FY2022	FY2023	増減額	増減率
業績	売上高	4,822	5,119	+297	+6%
	営業利益	682	728	+45	+7%
	営業利益率	14.1%	14.2%	+0.1pt	
	経常利益	709	769	+60	+8%
	親会社株主に帰属する当期純利益	520	570	+50	+10%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	135.51	144.66	+9.15	+7%
	ユーロ(円)	141.02	156.85	+15.83	+11%
	研究開発費	190	215	+25	
	設備投資額	225	225	▲ 0	
	減価償却費	175	186	+10	

為替影響額

売上高：196億円

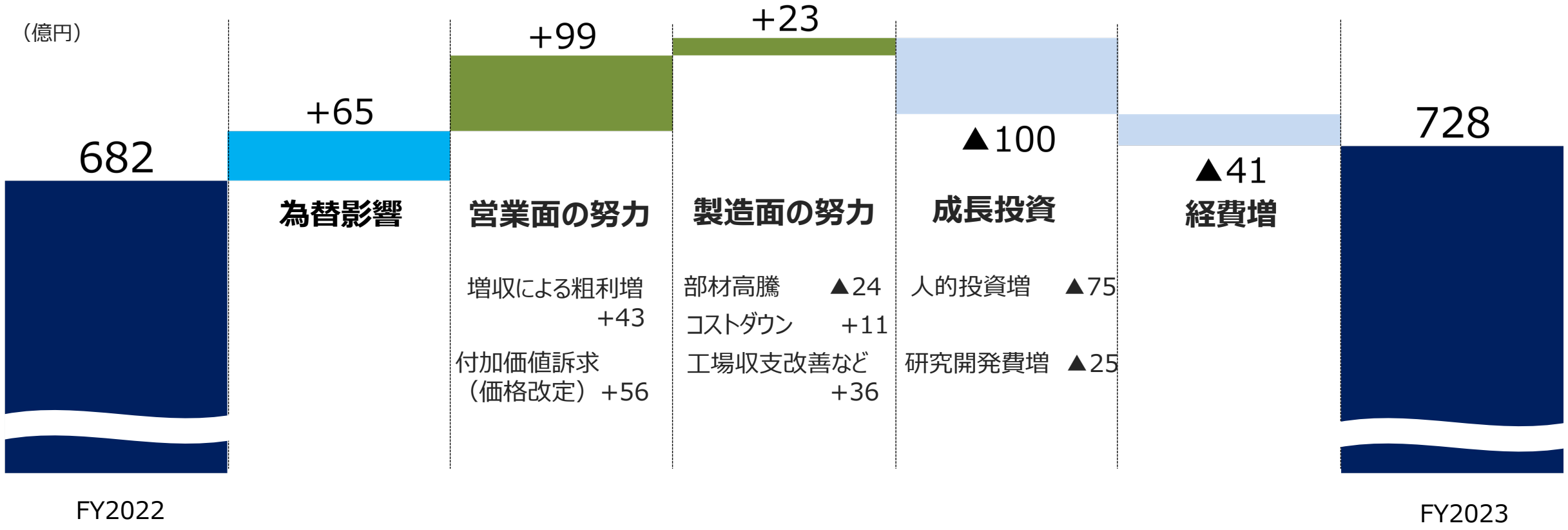
営業利益：65億円

* 記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

営業利益増減要因

・営業利益は45億円増加し728億円

【営業面の努力】	計測・産業・航空の増収に伴う粗利増と付加価値訴求	+99億円
【製造面の努力】	部材高騰に対し、工場収支改善などの粗利率改善	+23億円
【成長投資増加】	人的投資、研究開発投資などの成長投資増	100億円（利益押下げ）



セグメント別損益

・売上高は計測が牽引 +236億円。営業利益は、航空 +23と産業 +18が貢献。

計測／売上高

- ・重点機種がヘルスケア・グリーン領域で増加
- ・PCR試薬減少（▲60億円）

計測／営業利益

- ・研究開発費、人的投資などの成長投資増加
- ・利益率の高いLCが中国で苦戦

医用／売上高

- ・注力している血管撮影システムがグローバルに大幅増（48%成長）
- ・日本は大口案件、補正予算の反動を受け減収

医用／営業利益

- ・減収、成長投資増により減益

産業／売上高

- ・EV用セラミック製造向けで工業炉、太陽光、建材ガラス向けでTMP増加

産業／営業利益

- ・増収効果、付加価値訴求により増益

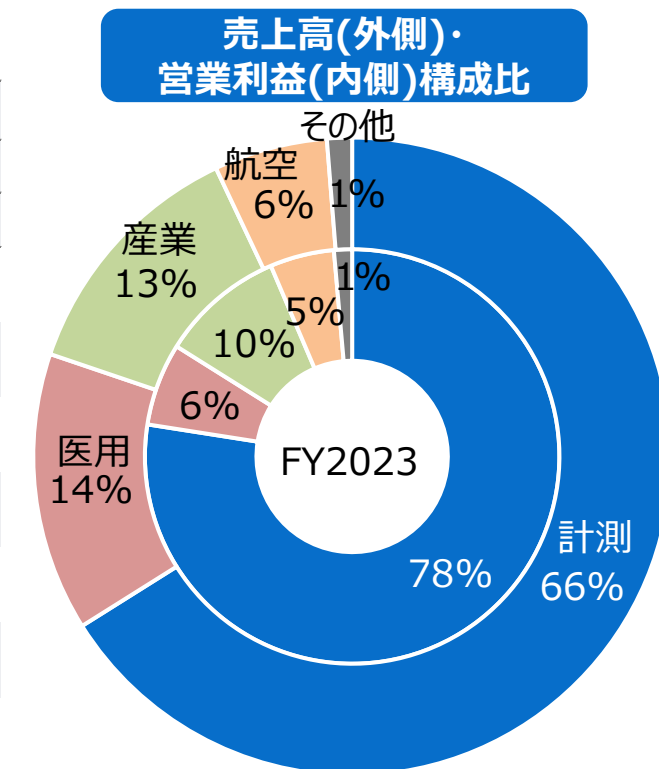
航空／売上高

- ・防衛・民間航空ともに増加

航空／営業利益

- ・増収効果に加え、採算性が改善し営業利益率が向上

単位: 億円	売上高			営業利益			営業利益率	
	FY2023	前期比		FY2023	前期比		FY2023	前期比
		増減額	増減率		増減額	増減率		
計測機器	3,383	+236	+7%	575	▲1	▲0%	17.0%	▲1.3pt
医用機器	723	▲36	▲5%	48	▲8	▲14%	6.6%	▲0.7pt
産業機器	654	+24	+4%	72	+18	+32%	11.0%	+2.4pt
航空機器	295	+55	+23%	37	+23	+167%	12.6%	+6.8pt
その他	65	+18	+37%	10	+4	+75%	11.4%	+3.0pt
調整額	-	-	-	▲15	+9	-	-	-
合計	5,119	+297	+6%	728	+45	+7%	14.2%	+0.1pt



重点機種 と TMP機種

- ・重点機種（LC,MS,GC）はヘルスケア領域、グリーン領域及びアカデミアで増加
- ・TMPは、半導体製造装置向けは減少したが、グリーン関連向け（薄膜太陽電池製造装置など）が増加

計測重点機種 前年比 +10%

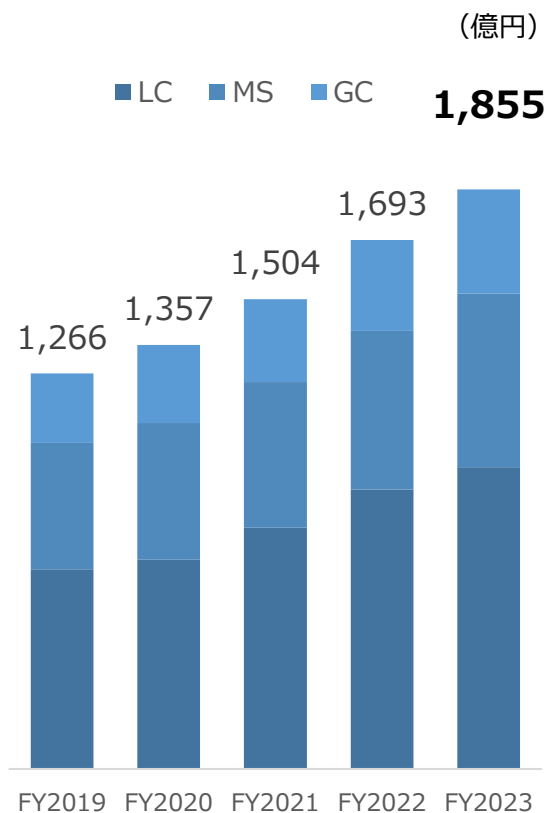
LC :
日本、北米、欧州、
その他のアジアで製薬向け増加



MS :
日本でアカデミア、
欧州で臨床向け増加



GC :
グリーン領域でグローバルに増加



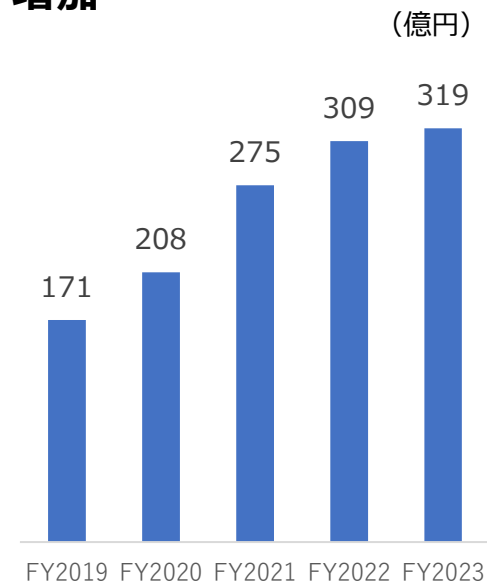
* 補足資料P28参照

TMP 前年比 +3%

- ・半導体製造装置向けは減少
- ・グリーン関連向け（薄膜太陽電池製造装置など）が増加



* 補足資料P38参照



地域別売上高

- ・日本は、計測、航空が牽引し2%増収
- ・海外は、欧州とその他のアジアが牽引し9%増収

単位 億円	FY 2022	FY 2023	前年同期比		概要
			増減額	増減率	
日本	2,111	2,156	+45	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・計測 +5% : 製薬向けでLC、MSが増加。新エネルギー開発向けでGC、新素材開発向けで試験機が増加 ・医用 ▲15% : 補正予算の減少、大口案件の反動減 ・産業 ▲2% : セラミック向け工業炉は増加したが、半導体製造装置向けTMPが減少 ・航空 +19% : 防衛向け増加
海外	2,711	2,963	+252	+9%	
北米	576	606	+30	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・計測 +2% : 特定顧客向けLC、臨床向けMS (MALDI) が減少。その影響を除けば+15% ・医用 ▲1% : 病院の設備投資の停滞 ・産業 +3% : フォークリフト向け油圧機器が増加 ・航空 +37% : 民間航空機向け増加
欧州	417	489	+72	+17%	<ul style="list-style-type: none"> ・計測 +19% : 製薬向けにLC、臨床・アカデミア向けにMS、新エネルギー向けにGCが増加 ・医用 +12% : 注力している東欧向けが増加 ・産業 +12% : 半導体製造装置向けTMPが増加
中国	967	999	+31	+3%	<ul style="list-style-type: none"> ・計測 +1% : 製薬、受託分析向けLCが減少、新エネルギー向けGC、臨床・アカデミア向けMSが増加 ・医用 +15% : 現地生産しているX線TVシステムや注力している血管撮影システムが増加 ・産業 +10% : 太陽電池や建材ガラスの製造に使用する薄膜製造装置向けTMPが増加
その他の アジア	522	593	+71	+14%	<ul style="list-style-type: none"> ・計測 +17% : 製薬向けでLC、MSが増加。新エネルギー開発向けでGC、新素材開発向けで試験機が増加 ・医用 +3% : 東南アジアで回診車の大口案件の反動減があったが、注力している血管撮影システムが増加 ・産業 +5% : セラミック向け工業炉が増加

02 2024年度通期業績予想

- ・地政学的リスクの継続に加え、米中貿易摩擦、インフレなどの影響を受け、先行き不透明な状況が続くと予想
- ・4領域の中で、需要が拡大している市場に注力し、様々な施策を遂行する

ヘルスケア

ライフサイエンス

【事業環境】

- ・創薬開発や自国生産強化で製薬市場拡大
- ・中国市況の低迷

【施策】

- ＜計測＞ 製薬：進化するラボの提案 *P16
- 北米市場向けソリューションの提供 *P17
- 中国：中国市場への取り組み *P23

メドテック

【事業環境】

- ・臨床市場拡大
- ・シニアヘルスケア市場拡大
- ・中国市況の低迷

【施策】

- ＜計測＞ 臨床：臨床プラットフォームの構築 *P18
- 中国：中国市場への取り組み *P23
- ＜計測・医用＞ シニアヘルスケア事業の拡大 *P19

マテリアル

【事業環境】

- ・新素材開発研究増
- ・化学業界投資減

【施策】

- ＜計測＞
- ・試験機の新素材向けアプリケーション、治具強化、海外販売強化
- ＜産業＞
- ・セラミック向け工業炉拡販

GX(グリーン)

【事業環境】

- ・脱炭素に向けた研究開発進展
- ・PFAS需要増

【施策】

- ＜計測＞
- ・グリーン（水素）向けトータルソリューション *P20
- ・環境（PFAS）向けトータルソリューション *P21
- ＜産業＞
- ・太陽電池向けTMP 拡販

インダストリー

【事業環境】

- ・半導体市場回復

【施策】

- ＜産業＞
- ・ターボ分子ポンプの成長戦略 *P22

*は関連するトピックスのページ

2024年度通期業績予想

- ・5期連続で過去最高更新を目指す
- ・研究開発費は65億円増加し280億円。売上高研究費率は5.3%（前年4.2%）

売上高
前期比：+131億円/ +3%
5,250億円

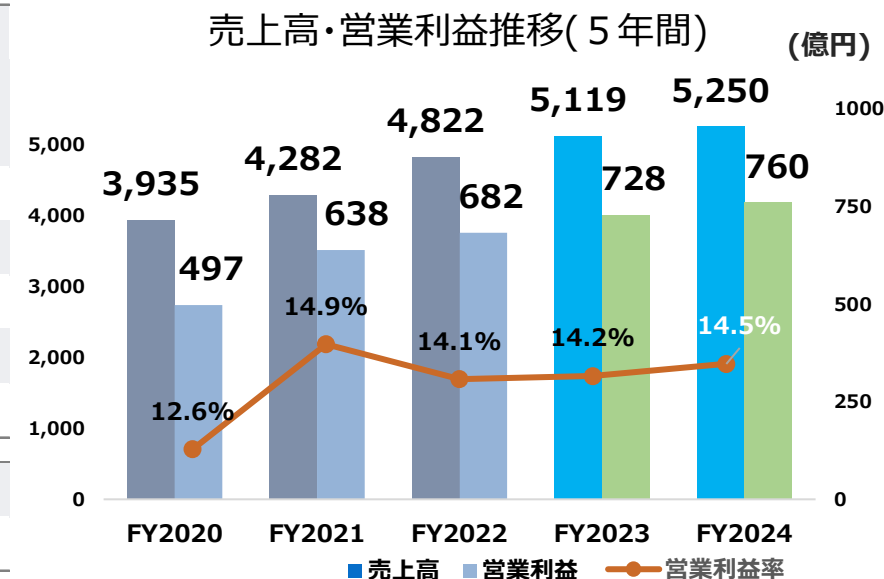
営業利益
前期比：+32億円/ +4%
760億円

営業利益率
前期比：+0.3pt
14.5%

当期純利益
前年同期比：+10億円/+2%
580億円

	単位：億円	通期		前期比	
		FY2023	FY2024 予想	増減額	増減率
業績	売上高	5,119	5,250	+131	+3%
	営業利益	728	760	+32	+4%
	営業利益率	14.2%	14.5%	+0.3pt	
	経常利益	769	770	+1	+0%
	親会社株主に帰属する当期純利益	570	580	+10	+2%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	144.66	145.00	+0.34	+0%
	ユーロ(円)	156.85	155.00	▲1.85	▲1%

研究開発費	215	280	+65
設備投資額	225	280	+55
減価償却費	186	200	+14



為替感応度

	米ドル	ユーロ
売上高	15億円	3億円
営業利益	5億円	1億円

2024年度通期セグメント別業績予想

受注残の売上転嫁、新製品の拡販を進め、計測、医用、産業で増収増益を目指す

◆ 増収計画

- 過去最高の期初受注残高を売上転嫁
- 新製品売上目標 +250億円
(FY22,23に発売した新製品の拡販強化)
- 施策の確実な実行

◆ 増益計画

- 営業努力による増収、付加価値訴求
(値上も含めて展開)
- 製造努力による工場収支改善
- 成長投資は140億円の予定
(研究開発費は65億円増)

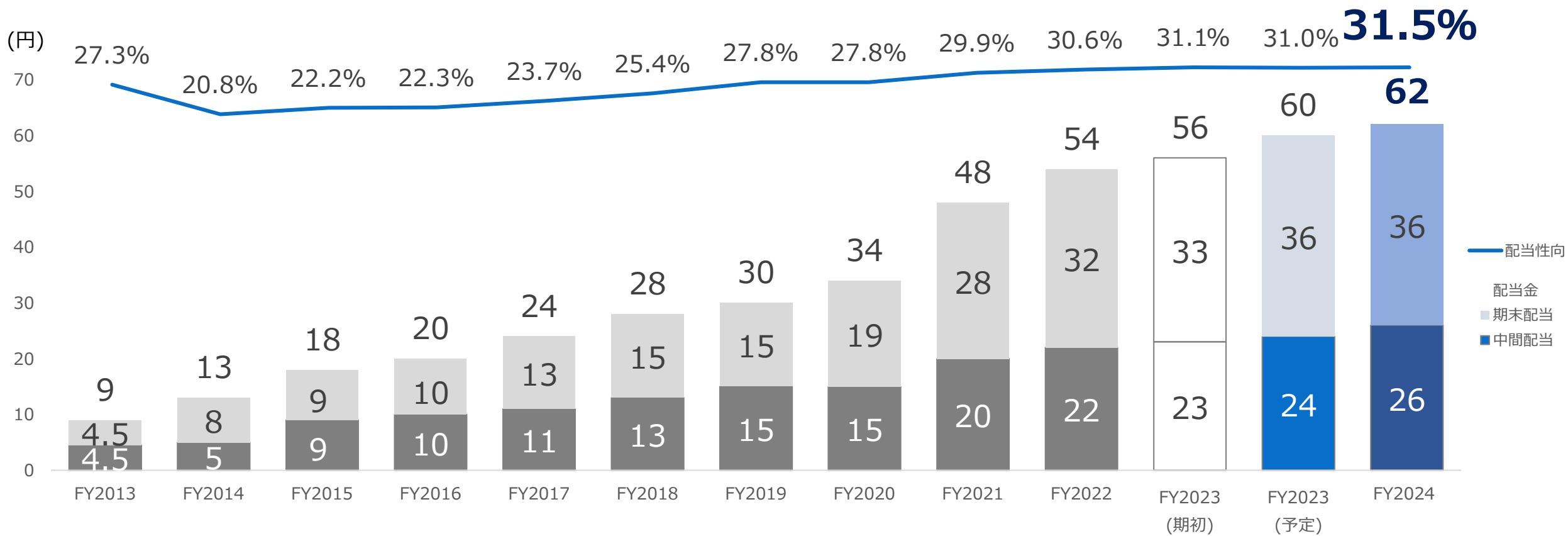
◆ セグメント別

- 計測・医用・産業は営業努力により増収増益を狙う
- 航空はプロダクトミックスの悪化で減益

単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2023	FY2024 予想	増減額	前期比 増減率	FY2023	FY2024 予想	増減額	前期比 増減率	FY2023	FY2024 予想	前期比 増減
計測機器	3,383	3,420	+37	+1%	575	600	+25	+4%	17.0%	17.5%	+0.5pt
医用機器	723	760	+37	+5%	48	60	+12	+26%	6.6%	7.9%	+1.3pt
産業機器	654	680	+26	+4%	72	80	+8	+11%	11.0%	11.8%	+0.8pt
航空機器	295	350	+55	+19%	37	30	▲7	▲19%	12.6%	8.6%	▲4.0pt
その他	65	40	▲25	▲38%	10	15	+5	+44%	11.4%	23.1%	+11.7pt
調整額	-	-	-	-	▲15	▲25	-	-	-	-	-
合計	5,119	5,250	+131	+3%	728	760	+32	+4%	14.2%	14.5%	+0.3pt

株主還元（配当）

- ・配当金：FY23 期初想定比4円増配（中間+1円、期末+3円）、前年比6円増配となり10期連続の増配
FY24 1株当たり62円と11期連続増配予定
- ・配当性向：還元方針（配当性向30%以上）に基づき、31.5%を予定



*FY2023は定時株主総会で確定。FY2024は予定。

株主還元（自己株式取得）

- ・自己株式取得：株主還元強化、資本効率改善のために上限250億円の自己株買い枠を設定
- ・総還元性向：配当と自己株買いを併せたFY2024総還元性向は、74.6%を予定

取得株式総数：**12,500千株（上限）**

発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 4.2%

株式の取得価額の総額：**250億円（上限）**

取得期間：2024年5月13日～2025年3月31日

取得方法：東京証券取引所における市場買付

03 トピックス

ヘルスケア

- ・製薬市場向け“進化するラボ”構築の提案
- ・北米製薬市場へのトータルソリューションの提供
- ・メドテック事業の強化（臨床プラットフォームの構築：計測）
- ・メドテック事業の強化（シニアヘルスケア事業の拡大：計測・医用）

グリーン

- ・グリーン向けトータルソリューション／水素
- ・環境向けトータルソリューション／PFAS

インダストリー

- ・ターボ分子ポンプの成長戦略

海外事業拡大

- ・中国市場への取り組み

経営基盤

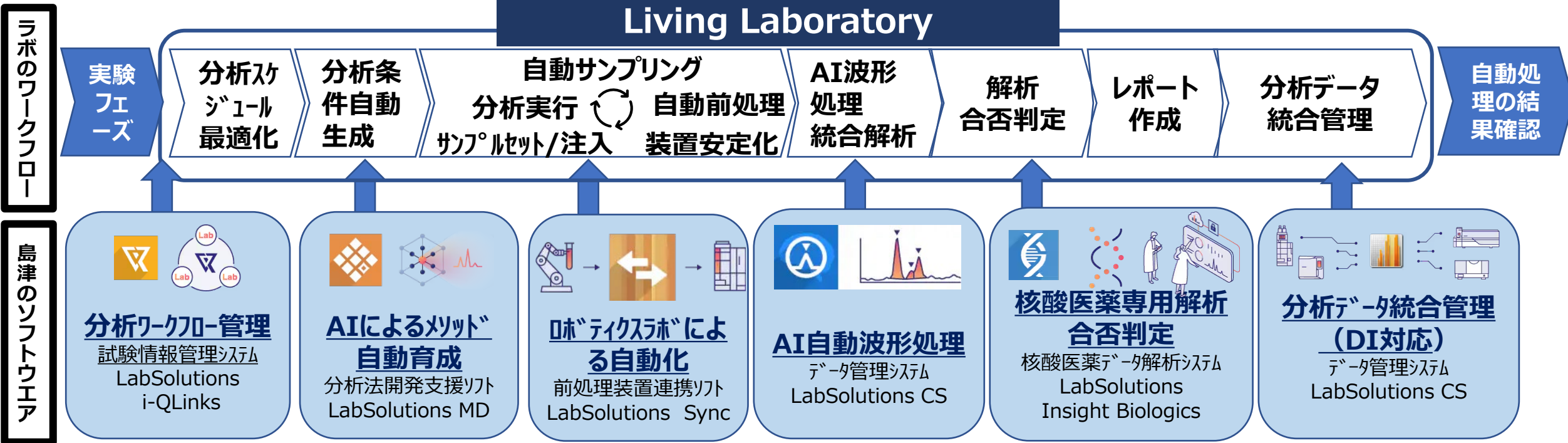
- ・ガバナンスの強化
- ・島津の求める人財の育成強化

製薬市場に向けて“進化するラボ”の構築を提案

- “進化するラボ(Living Laboratory)”を実現し、お客様の分析計測の生産性向上に寄与する
- 他社の機器も含め多機種を接続できるネットワークシステムにより、分析データ統合管理と効率化を両立
- 準備、前処理、分析、データ解析、データ管理までのラボワークと、ネットワークシステムまで全てのソリューションを提供

進化するラボ：living laboratoryの特長

- 分析計測機器、ロボティクス、AI、IoT技術を活用し、ラボのワークフロー全体を統合運用管理するシステム
- ラボで必要となるワークフローをトータルサポートすることで、分析プロセスの生産性向上
- 新たなワークフローへの対応をスムーズに行い、研究者のより高度な業務への集中を支援する



北米製薬市場へのトータルソリューションの提供

- ・先端ニーズに応える製品：メガファーマで超臨界液体クロマトグラフ分析・分取・抽出システムの採用が進む
- ・先端ニーズに応える技術開発：開設した北米R&Dセンターで、北米の先進的な顧客との密着型開発を加速
- ・アフターサービスの強化：マルチベンダーサービス(MVS)により高度なアフターサービスを提供

◆ セミ分取超臨界流体クロマトグラフの拡販

- ・既に北米製薬の40社以上に納入
- ・溶媒消費量を当社比94%削減、環境負荷大幅低減



米国大手製薬が参画するコンソーシアム*の要求仕様
をもとに製品化
* Enabling Technologies Consortium

超臨界液体クロマトグラフ分析・分取・抽出システム「Nexera UC Prep」

◆ マルチベンダーサービス*(MVS)による顧客接点強化

* * 製造元を問わず一社による一括したメンテナンス・サービスを提供

- ・品質管理の厳格化に伴い、MVS需要増加
- * MVS市場規模 約10億ドル CAGR 7%



分析機器のMVS会社 Zef Scientific Inc. (米国) を買収

◆ 北米R&Dセンター（3施設）を設立

- ・北米R&Dセンター開発製品の売上高目標：FY2025 \$35M

西海岸開発センター

- ・製薬 & バイオ系企業の先端ニーズ把握
- ・自動化の企画・協業

東海岸開発センター

- ・大手製薬の上流部門の先端ニーズ把握
- ・最先端技術を搭載したMSの企画開発



北米3拠点での
開発体制構築



北米R&Dセンター

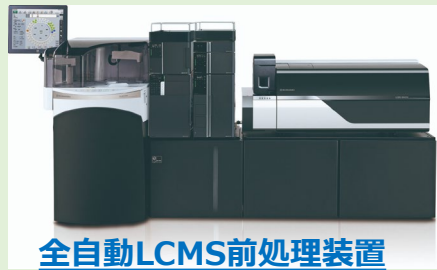
- ・東西開発センターからの顧客ニーズに基づいたハードウェア・ソフトウェア・アプリの開発と評価

メドテック事業の強化（臨床プラットフォームの構築：計測）

- ・当社独自の全自動前処理装置CLAM と 他社全自動前処理 を活用した臨床用LCMSプラットフォームの構築
- ・M & A や提携を推進し、顧客への提供価値を拡大する

ハードウェアの接続

IVD製品ラインアップの拡大



全自動LCMS前処理装置

CLAM-2040 CL

高速液体クロマトグラフ
質量分析システム
LCMS-8060NX CL



Hamilton社全自動前処理装置

+

試薬のラインナップ強化

Alsachim（2018年買収）
SDC（2022年買収）
Biomaneos（2023年買収）



ヨーロッパ2大試薬メーカーRecipe社が
CLAM対応IVDキットを拡充



分析メソッドの拡充



病院と臨床市場向けアプリケーション共同開発

フランス、デンマーク、ルーマニア、スロベニア、ドイツ、チェコなどの計40施設以上で導入

検査装置から臨床検査情報システム（LIS）への
データ送信の自動化

ソフトウェアの接続



Biomaneosソフトウェア

BioApps : 装置と接続
BioConnect : LISと接続
BioSupport : 消耗品など管理

他社との連携を強化



免疫検査システム

総合自動検体検査搬送システム

メドテック事業（シニアヘルスケア事業の拡大：計測・医用）

・健康寿命の延伸に向けて、骨・心疾患・末梢血管・認知症予防に集中し、トータルソリューションを提供

「寝たきり」を防ぎ
高齢者の予防医療
介護者の負担軽減



「歩く」を支えることで
高齢者のQOLを向上

「歩く」効果

- ・骨粗鬆症、虚血性心疾患などの罹患率低下
- ・認知症予防 (厚生労働省HPより)
(東京都健康長寿医療センターHPより)

骨分野:骨ドック

＜血中ビタミンD検査、X線TVシステム＞

- ・骨折の検査、骨密度測定（患者の移動負担なし）
- ・骨粗鬆症の検査、人工関節置換術後の支援
- ・血中ビタミンD検査、治療薬血中濃度モニタリング
- ・医師の負担軽減にAIで診断サポート

単純X線撮影



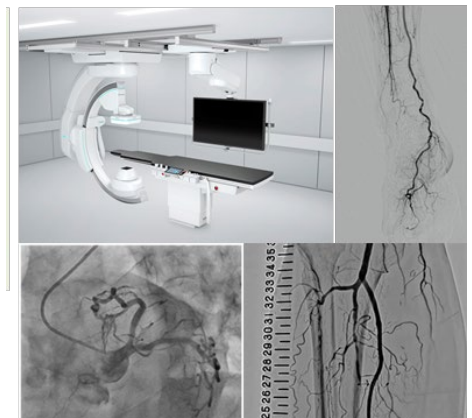
骨折などの形態診断

骨密度の定量検査

心疾患・末梢血管:

＜心疾患バイオマーカー探索、血管撮影システム＞

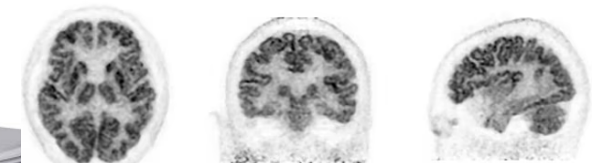
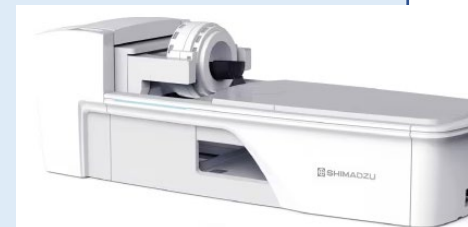
- ・虚血性心疾患、下肢動脈疾患の発症予測、治療支援
- ・血管撮影システム:画像処理エンジンにAIを搭載、従来比40%の被ばく低減と視認性向上を両立



認知症検査分野

＜血液検査、頭部・乳房用PET装置 BresTome＞

- ・血液中のアミロイドβ測定
- ・頭部アミロイドβ蓄積画像の高精細化
- ＜頭部PET納入先＞
藤田医科大学東京 先端医療研究センター
近畿大学高度先端総合医療センター
LSI札幌クリニック など



頭部FDG正常例

データご提供：近畿大学高度先端総合医療センター
PET分子イメージング部 様

グリーン向けトータルソリューション/水素

・水素向けで、新製品GC-2050・GCMS-QP2050によるシェア拡大。水素分析の標準化を狙う

基礎研究・触媒研究

水素製造研究

触媒反応・生成物評価

キャラクタリゼーション



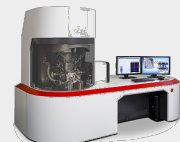
光反応評価装置
Lightway



フーリエ変換
赤外分光光度計
IRXross



ポータブル
ガス測定装置
CGT-7100



イメージングX線光電子分析装置
KRATOS ULTRA2

水素製造

一体型液体クロマトグラフ
i-Series

エネルギー会社と共同開発

水素搬送

・水素キャリア評価
・パイプラインの素材評価

水素貯蔵

貯蔵・輸送等インフラ技術評価

メタネーション

合成燃料

ガス会社と共同開発

水素利用

水素不純物分析

・燃料純度
・水素純度等

水素不純物分析



イオンクロマトグラフ
HIC-ESP



輸送キャリア評価



NEW
ガスクロマトグラフ
質量分析システム
GCMS-QP2050



精密万能試験機
AGX-V2



マイクロフォーカスX線CTシステム
inspeXio SMX-225CT FPD HR Plus

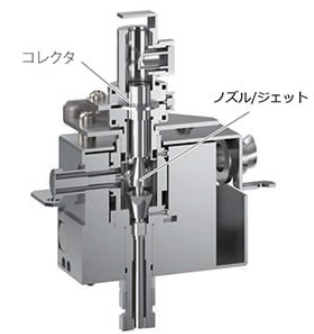


ガスクロマトグラフ
Brevis GC-2050

NEW

GX領域における競争力を強化

米Activated Research Companyから
マイクロリアクター事業を買収



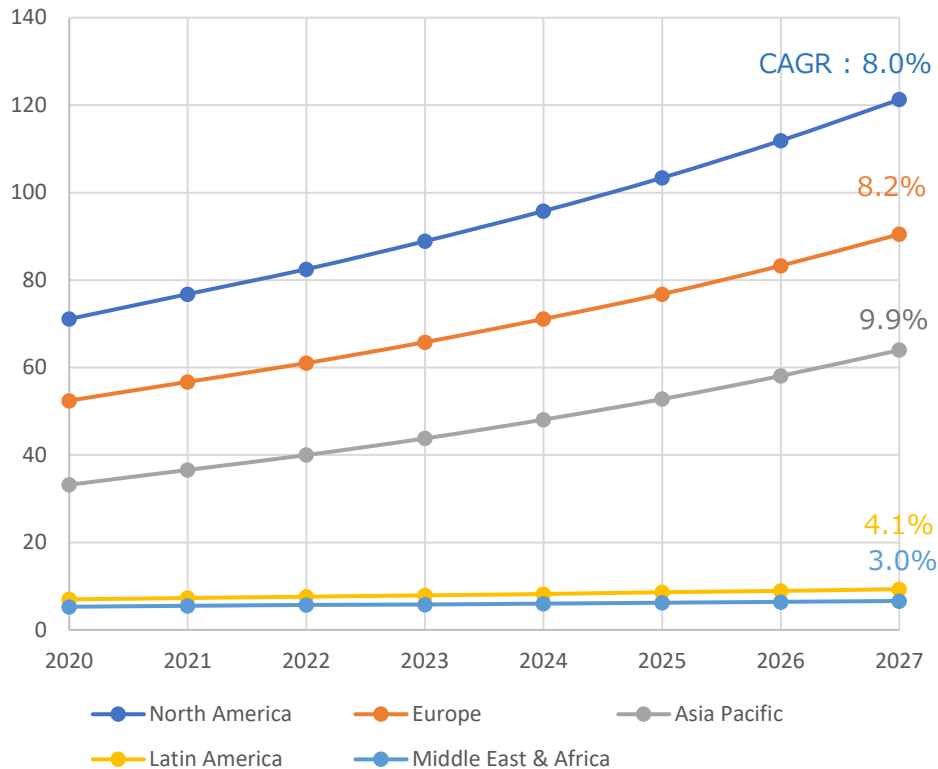
- ・汎用的な検出器のみで複数の温室効果ガスの一斉分析が可能
- ・世界最大規模の業界規格化団体である米国試験材料協会（ASTM）で分析標準化を推進

環境向けトータルソリューション/PFAS

- ・米国環境保護庁基準（EPA）に沿った分析提案：前処理からレポート出力までトータルソリューションを提供
- ・世界的な基準強化の動向を背景に、PFAS向けLCMSシェア拡大を目指す

PFAS分析の市場規模

ENVIRONMENTAL TESTING EQUIPMENT MARKET FOR PFAS,
BY REGION (USD Mil)



◆ 北米での取組み（FY2023）

PFASタスクフォース活動展開：EPA基準に沿った分析を提案
受託分析会社、水道局、アカデミア にLCMSを販売（シェア10%）

◆ 製品開発

PFAS分析に適した新製品の投入



◆ メソッド開発

PFAS用メソッド開発の推進



◆ 前処理開発

自動化の推進



◆ リカーリング

PFAS向け消耗品ラインアップ拡大

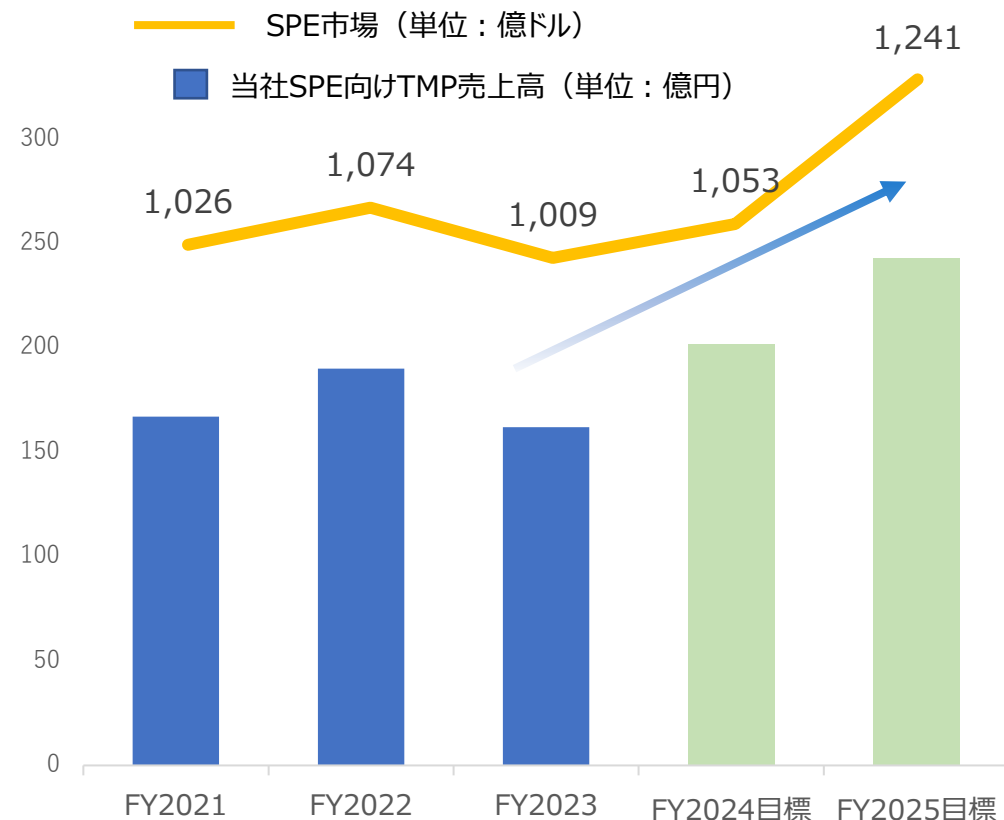
出典：ENVIRONMENTAL TESTING EQUIPMENT MARKET – GLOBAL FORECAST TO 2027

ターボ分子ポンプ（TMP）の成長戦略

- ・半導体製造装置（SPE）市場は、FY2024、FY2025と増加見通し（FY2023実績は減少）
- ・SPE向けシェア拡大、サービス比率の拡大を図る

半導体製造装置（SPE）向けTMP売上高

- ・ SPEの市場回復とシェア拡大に伴い増加



シェア拡大

- ・ 顧客の課題解決につながる高付加価値技術の提供
- ・ 4大SPEメーカーの新製品への搭載比率拡大

リカーリング拡大





- ・ 半導体投資に合わせた拠点新設によるメンテナンス・サービス売上拡大（現在グローバルで10拠点）
- ・ アップグレードサービス、エンドユーザーへのダイレクトのサービス推進
- ・ 24時間365日フルサポート拡大



2023年6月に開設した中国武漢のサービス拠点

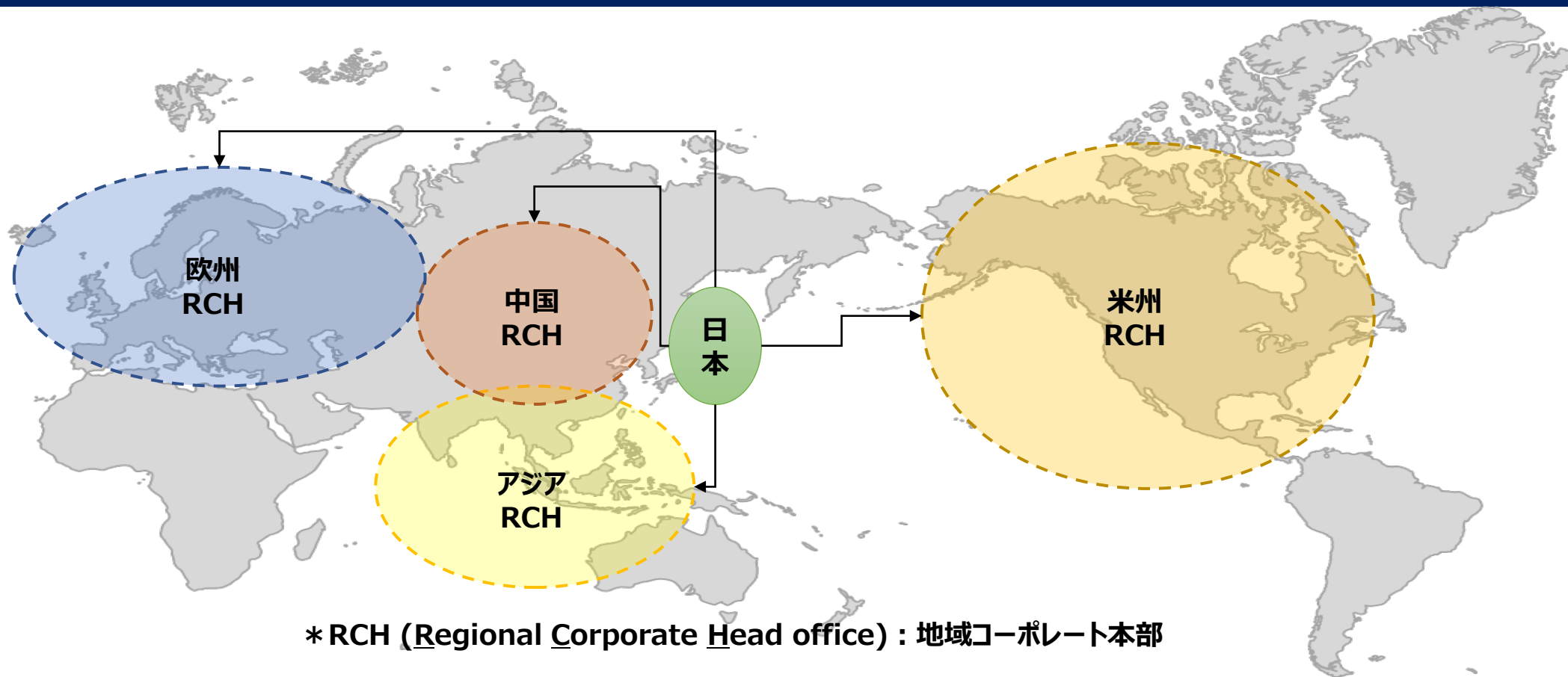
- ・足元は製薬・CxO*を中心に厳しい市況が継続しているが、政府支援策が発表され需要拡大に期待
- ・臨床、アカデミア、グリーンなど、需要が拡大している分野に注力

政府支援策：「大規模な設備更新と消費財の買い替えを推進する行動計画」発表、医療・教育・インフラなどに対する設備投資更新に対して補助金・低金利ローンを提供

		市場環境	施策
 ヘルスケア ライフサイエンス		<ul style="list-style-type: none"> ・製薬・CxO : 設備投資停滞が継続 ・漢方薬 : 品管、安全性分析、残留規制強化など ・薬典 : 2025年に薬典改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢方薬の残留農薬規制対応 強化 ・2025年薬典改訂対応 早期提案
	 メドテック	<ul style="list-style-type: none"> ・病院 : 発令された「総合病院機器構成標準」で県級の総合病院で質量分析計導入が進む : 血管撮影システムと中国製X線TV撮影が好評 	<ul style="list-style-type: none"> ・試薬メーカーと提携しOEM展開 ・医用製品継続展開
 GX(グリーン)	<ul style="list-style-type: none"> ・リチウムイオン電池 : 研究開発強化、品質向上で需要増 ・水素エネルギー : 各地で水素ステーション建設に伴う装置需要増 ・環境規制の強化 : 新汚染物質管理行動法案施行 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な製品ラインアップで、研究開発から品質管理までのニーズに対応 ・40種類の規制強化対応アプリを活用しLCMS、GCMS拡販 	
 アカデミア	<ul style="list-style-type: none"> ・地方職業訓練学校 : 「職業教育産学融合強化行動実施計画(2023-2025)」に基づいた支援拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な製品ラインで多くのニーズに対応 ・国産優遇策には中国生産品で対応 	

ガバナンスの強化

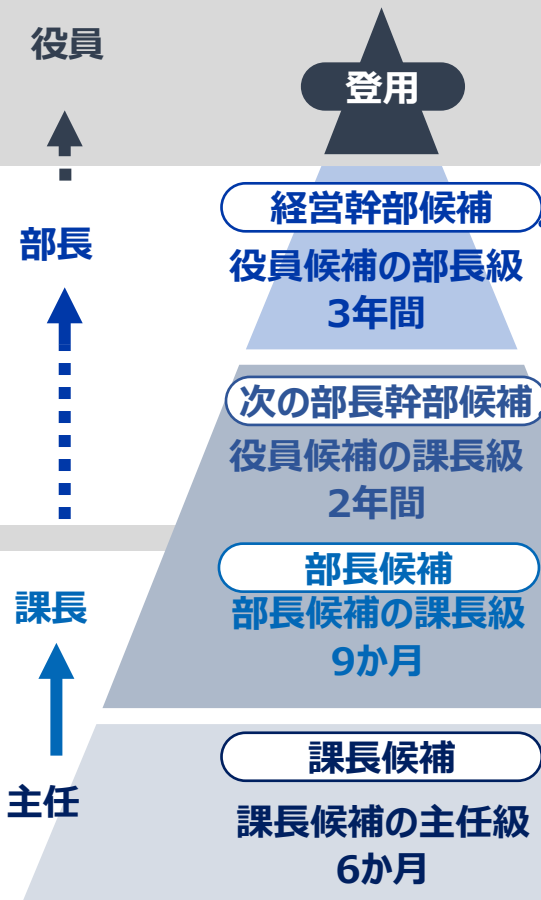
- ・「リスク対策室」を新設：内部統制、コンプライアンス、リスクマネジメントを一体化して統合リスク管理を推進
- ・業務監査方針を策定：創設予定の地域コーポレート本部(欧・米・亜・中～2028年度)で監査実施、適時モニタリングと迅速な業務改善を図る
- ・地域コーポレート本部：本社からの監査業務移管／権限移譲を受け、配下の会社に対してガバナンスを効かせる



人財の育成強化

島津アカデミーを開校し、経営幹部候補とビジネスリーダーの育成に取り組む

昇進人数目安



島津アカデミー

① 経営幹部候補の育成

人財育成会議による人選・異動／配置・評価を通じた育成
経営層による薫陶・英語・外部研修派遣

.....【目的】経営幹部候補として
必要な仕事経験と知識の習得

.....【目的】次の部長級の幹部候補として
必要な仕事経験と知識の習得

② ビジネスリーダーの育成

視野・視座の拡張、
経営知識/リーダーシップ、
自社理解等、
必要なスキルの習得・マインドセット

③ 高度専門人財の育成

博士号取得・高度資格取得・DXスキル
【対象】選抜・公募

FY2023実績

① 経営幹部候補の育成

・2023年10月育成プログラム開始

② ビジネスリーダーの育成

・リーダーシップ研修修了者817名

③ 高度専門人財の育成

・新規資格取得者29名
・新資格取得奨励制度制定
・SPARK（博士号取得のための支援制度）開始

FY2024計画

①、②、③の継続と進化



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所

コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673

E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

計測機器/機種別売上高・リカーリング比率

【重点機種】 ヘルスケア領域、グリーン領域及びアカデミアで増加し、**10%増収**

【その他機種】 グリーン領域、マテリアル領域で試験機が増加し、**5%増収**

【リカーリング】 PCR試薬が大幅に減少したが、メンテナンス・サービスが増加し、**64億円増加**

重点機種売上高

前年同期比 +162億円/ +10%

1,855億円

- ・ LC：ヘルスケア領域(製薬向けなど)で増加
- ・ MS：臨床、アカデミア向けで増加
- ・ GC：グリーン領域で増加

その他機種売上高

前年同期比 +74億円/ +5%

1,527億円

- ・ 試験機：新素材向けで増加
- ・ コロナ関連：PCR試薬・AutoAmpが大幅減

リカーリング比率

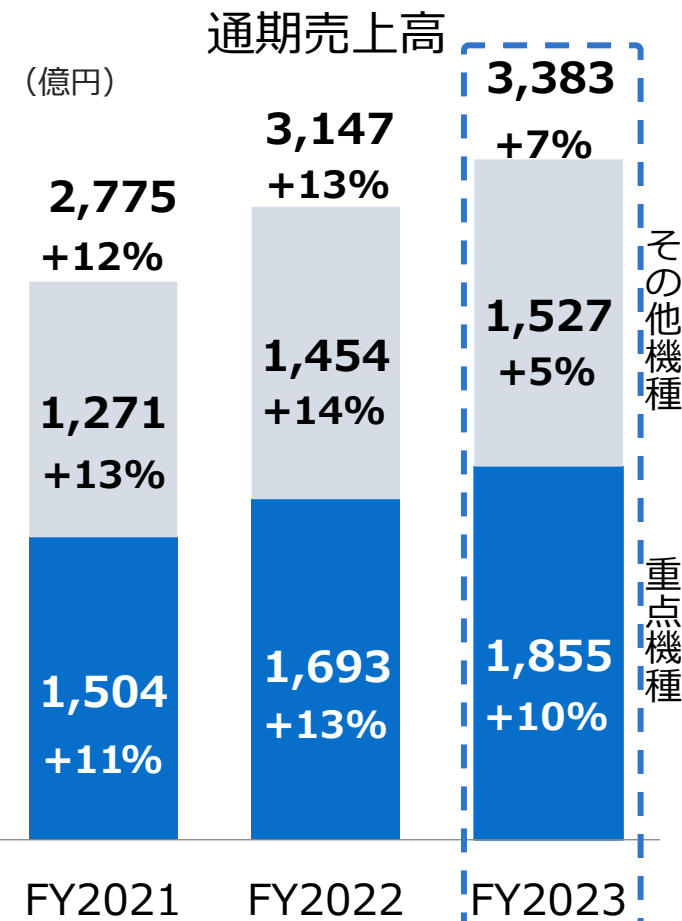
前年同期比 ▲1pt (売上高+64億円)

36%

- ・ メンテナンス・サービスは増加
- ・ PCR試薬が大幅減



*FY2023に上市した製品を新製品として表示

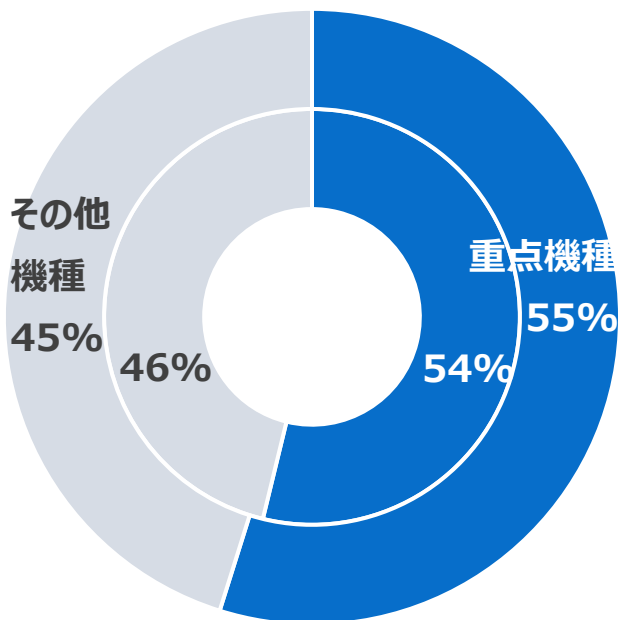


%表記は前年同期比増減率

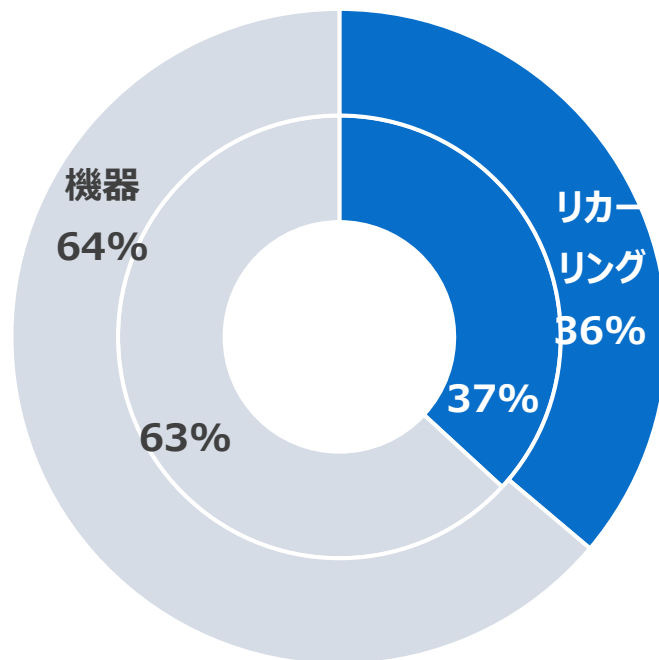
計測機器/各種売上高構成比率（通期）

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

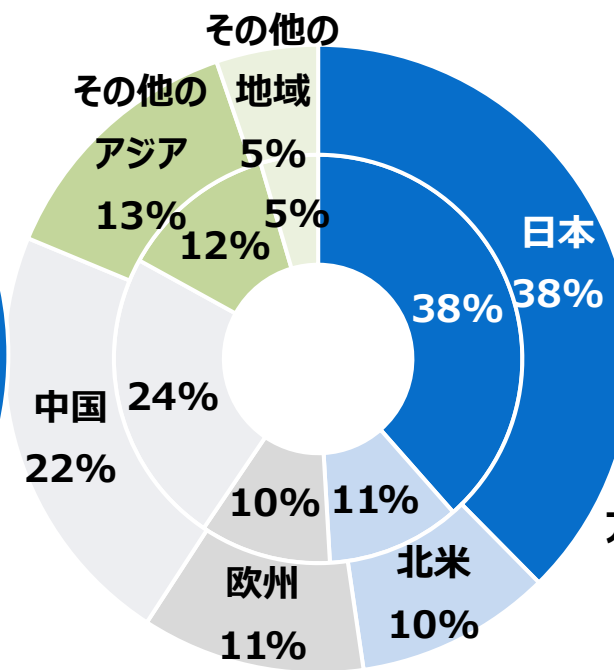
機種別



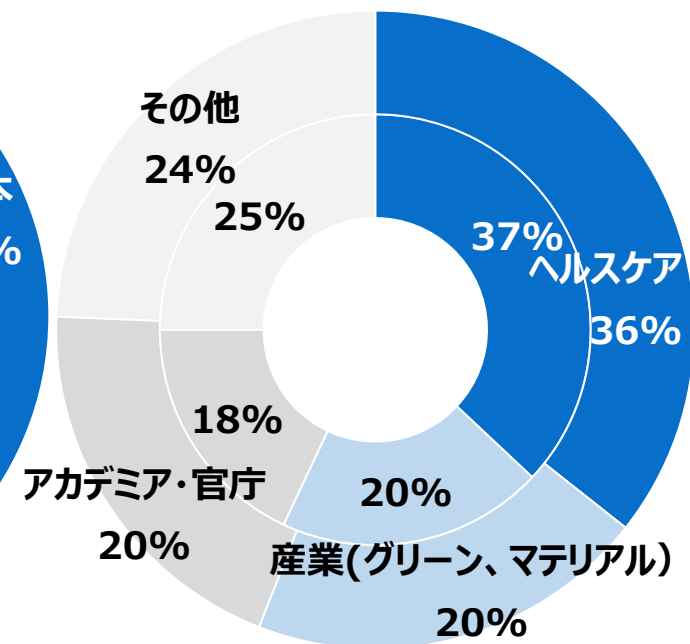
機器/リカーリング



地域別



市場別



※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

計測機器/重点機種売上高前年同期比

- ・重点機種 LC : 日本、欧州、その他アジアで製薬向けに増加、中国で製薬向けに減少
MS : 日本で食品、北米で環境向けに増加。中国はアカデミア特需の反動で減少
GC : 特需があった中国を除き、グローバルで新エネルギー向けなどに増加

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
重点機種	+24%	+10%	+10%	+3%	+11%	+2%	+14%	+9%	+25%	+13%	+18%	+13%	+12%	▲2%	+10%
全体	+29%	+12%	+9%	+4%	+12%	+1%	+15%	+15%	+20%	+13%	+16%	+10%	+6%	+2%	+7%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
重点機種	+20%	+7%	+4%	▲3%	+6%	▲9%	▲2%	▲5%	+14%	▲0%	+12%	+8%	+7%	▲10%	+4%
全体	+25%	+9%	+4%	▲0%	+8%	▲8%	+3%	+3%	+13%	+3%	+11%	+6%	+2%	▲4%	+3%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器/地域別売上高

【日本】ヘルスケア領域、グリーン領域で重点機種が増加。また、グリーン領域、マテリアル領域で試験機が増加
 【海外】北米：大手製薬向け、PFAS向け増加 欧州：製薬向けにLC、臨床、アカデミア向けにMSが増加
 中国：新エネルギー向けにGCが増加する一方、製薬・受託向けLC減少 その他アジア：インド、東南アジアで製薬向けにLC増加

単位 億円		FY 2022	FY 2023	前年同期比		通期概況
				増減額	増減率	
日本	通期	1,211	1,272	+60	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・製薬向けでLC、MSが増加 ・新エネルギー開発向けでGC、新素材開発向けで試験機、EV向けで非破壊検査装置が増加 ・コロナ関連が減少（▲71億円）
	4Q	428	455	+27	+6%	
海外	通期	1,935	2,111	+175	+9%	<ul style="list-style-type: none"> ・海外売上高比率は62%
	4Q	517	505	▲12	▲2%	
北米	通期	333	341	+8	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・注力している製薬は、差別化製品のSFCなどにより大手製薬向けが増加 ・PFAS向けMSが増加 ・特定顧客向けLC、臨床向けMS（MALDI）が減少 *特定顧客を除けばLCは増加
	4Q	94	101	+7	+7%	
欧州	通期	327	389	+62	+19%	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床、アカデミア向けにMSが増加 ・製薬向けにLCが増加 ・新エネルギー向けにGCが増加
	4Q	90	99	+9	+10%	
中国	通期	741	747	+6	+1%	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギー向けにGCが増加、アカデミア、臨床向けにMSが増加 ・製薬、受託分析向けLCが大幅に減少
	4Q	195	153	▲42	▲21%	
その他の アジア	通期	391	456	+65	+17%	<ul style="list-style-type: none"> ・インド（+20%）：中国からインドへの委託増加に伴う受託分析向けや製薬向けLCが増加 ・東南アジア（+20%）：製薬向けにLC、MSが増加
	4Q	96	106	+10	+11%	

計測機器/地域別売上高前年同期比

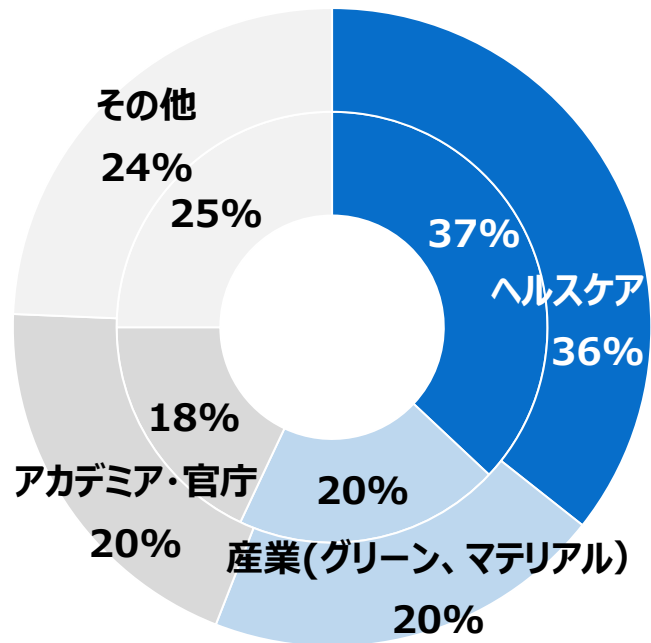
- ・日本：製薬向けにLC、グリーン向けに試験機増
- ・海外：中国が製薬向け、アカデミア特需の反動で大幅に減少

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%
北米	+35%	+12%	+2%	+9%	+13%	▲2%	+12%	+20%	+22%	+13%	+1%	+4%	▲4%	+7%	+2%
欧州	+28%	+17%	+9%	▲2%	+11%	+13%	▲1%	+18%	+28%	+14%	+20%	+27%	+21%	+10%	+19%
中国	+24%	+9%	+9%	▲2%	+10%	▲14%	+36%	+6%	+49%	+17%	+31%	▲4%	+6%	▲21%	+1%
その他のアジア	+27%	+10%	+18%	+14%	+17%	+37%	+25%	+24%	+18%	+25%	+15%	+20%	+20%	+11%	+17%
インド	+4%	+3%	+4%	+12%	+6%	+50%	+22%	+26%	+8%	+23%	+27%	+14%	+32%	+8%	+20%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%
北米	+31%	+7%	▲7%	+0%	+7%	▲16%	▲9%	▲3%	+6%	▲5%	▲4%	▲1%	▲8%	▲4%	▲4%
欧州	+15%	+11%	+4%	▲4%	+5%	+8%	▲8%	+7%	+19%	+6%	+11%	+13%	+10%	▲3%	+8%
中国	+22%	+5%	▲0%	▲12%	+4%	▲28%	+9%	▲14%	+31%	▲3%	+24%	▲9%	+2%	▲31%	▲5%
その他のアジア	+22%	+6%	+10%	+6%	+10%	+20%	+4%	+4%	+6%	+8%	+10%	+15%	+15%	▲0%	+10%
インド	+2%	▲0%	▲3%	+3%	+0%	+27%	▲2%	+2%	▲6%	+2%	+20%	+9%	+26%	▲4%	+12%

計測機器/市場別売上高比率（通期）

市場別売上高構成比



市場と主な業界	構成比		売上高 前年同期比	概況
	FY2022	FY2023		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	37%	36%	+3%	・日本、北米、欧州、その他アジアで医薬向け増加 ・欧州、中国で臨床向け増加 ・中国で医薬、CRO向けが大幅に減少 ・日本でPCR関連減少
産業関連 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	20%	20%	+8%	・水素をはじめとする新エネルギー開発を中心にGCが増加 ・新材料開発に向け試験機が増加 ・EV向けに非破壊検査装置が増加
大学・官公庁	18%	20%	+14%	・欧州、中国でアカデミア向け増加 ・その他のアジアで官公庁向け増加

※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

医用機器/機種別売上高・リカーリング比率

【X線装置】 血管撮影システムは、AIを搭載した新製品やワンマンオペレーションを可能にした操作性が評価され大幅増。
一方、日本でX線TVや一般撮影が補正予算の反動で減少し、X線装置全体では2%増収

【その他機種】 放射線治療用動体追跡システムの大口案件の反動減などで減少

X線装置売上高
前年同期比 +12億円/+2%
550億円

- 血管撮影システム：機能が評価され全地域で増収
- X線TVシステム：中国で現地生産品が増加
- 撮影装置：補正予算の反動で減少

その他機種売上高
前年同期比 ▲48億円/ ▲22%
173億円

- 前年の放射線治療用動体追跡システムの反動減

リカーリング比率
前年同期比+2pt (売上高+3億円)
36%

- メンテナンス・サービスが増加

X線装置



X線TVシステム FLEXAVISION F4

近接型X線TVシステム FLUOROsPEED X1

血管撮影システム Trinias

一般撮影システム RADspeed Pro

その他

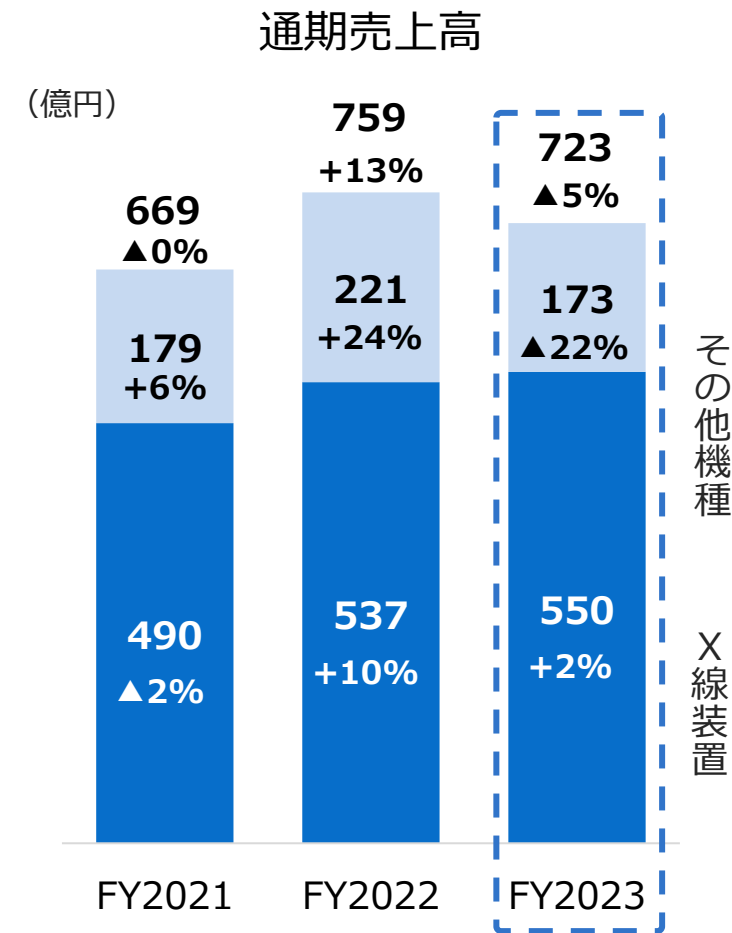


TOF-PET装置 BresTome

放射線治療用動体追跡システム SyncTraX

MERSYS-X

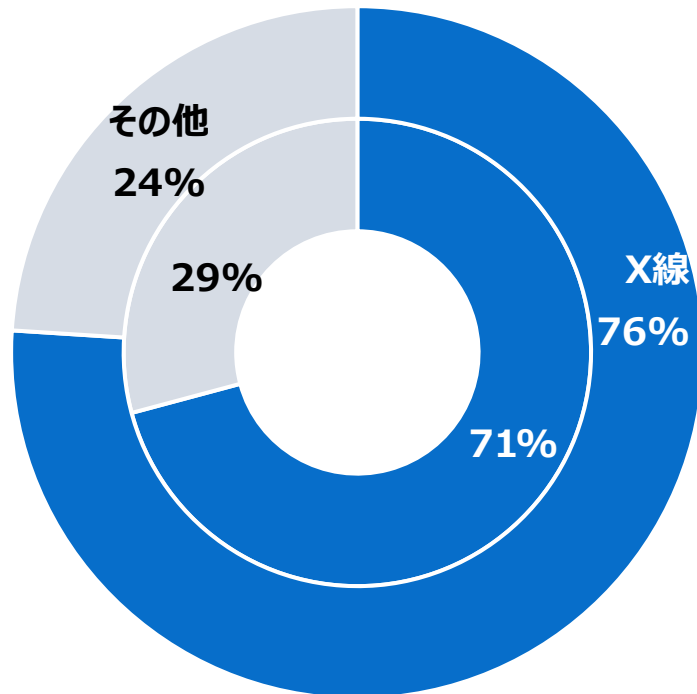
*FY2023に上市した製品を新製品として表示



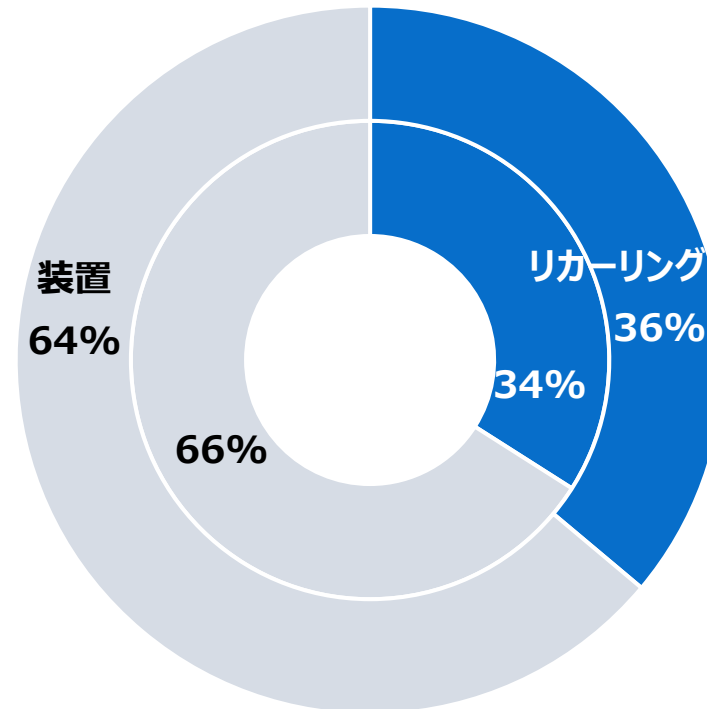
%表記は前年同期比増減率

医用機器/各種売上高構成比率（通期）

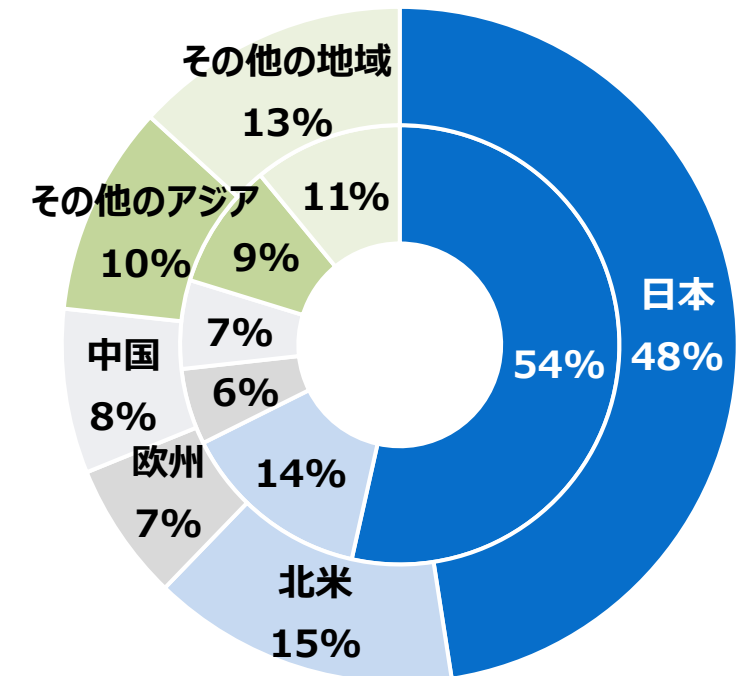
機種別



装置/リカーリング



地域別



※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

医用機器/地域別売上高

単位 億円		FY2022	FY2023	前年同期比		通期概況
				増減額	増減率	
日本	通期	406	344	▲62	▲15%	<ul style="list-style-type: none"> ・世界初のAIによる画像処理技術を搭載した新製品の血管撮影システムが増加 ・補正予算の減少、大口案件の反動減
	4Q	130	108	▲22	▲17%	
海外	通期	353	379	+27	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・海外売上高比率は53%と6pt増加
	4Q	95	108	+14	+14%	
北米	通期	107	106	▲1	▲1%	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的なワンマンオペレーションを可能とする新製品の血管撮影システムが、注力している日帰り手術施設を中心に増加 ・X線TVシステムや一般撮影システムが減少
	4Q	32	32	+0	+0%	
欧州	通期	43	48	+5	+12%	<ul style="list-style-type: none"> ・東欧で実機見学や医師へのアプローチ強化により血管撮影システムが増加
	4Q	11	11	+0	+0%	
中国	通期	49	57	+7	+15%	<ul style="list-style-type: none"> ・専任チーム設置による活動強化で血管撮影システムが増加 ・中国市場向けに現地生産しているX線TVシステムの新製品が増加
	4Q	14	13	▲1	▲5%	
その他の アジア	通期	70	73	+2	+3%	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアやインドで血管撮影システムが大幅に増加 ・東南アジアで回診車の大口案件の反動減
	4Q	17	21	+4	+27%	

医用機器/地域別売上高前年同期比

- ・国内：血管撮影システムは増加したものの、前年補正予算の反動減で減少
- ・海外：X線TV、血管撮影システムを中心に増加。一般撮影が減少

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%
北米	+3%	▲16%	+11%	+14%	+2%	+4%	+52%	+21%	+28%	+26%	▲18%	+11%	▲2%	+0%	▲1%
欧州	▲13%	▲39%	▲33%	▲12%	▲27%	+5%	+61%	+2%	+33%	+22%	+16%	▲7%	+41%	+0%	+12%
中国	▲25%	+3%	▲11%	▲10%	▲11%	+12%	▲12%	+5%	+23%	+6%	+24%	+38%	+7%	▲5%	+15%
その他のアジア	+16%	+7%	+26%	▲22%	+4%	+10%	+16%	+7%	+19%	+13%	+20%	▲28%	+10%	+27%	+3%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
日本	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%
北米	+2%	▲19%	+2%	+5%	▲3%	▲12%	+22%	▲3%	+11%	+5%	▲23%	+6%	▲6%	▲10%	▲7%
欧州	▲21%	▲42%	▲36%	▲14%	▲31%	+0%	+50%	▲8%	+22%	+13%	+7%	▲18%	+28%	▲11%	+1%
中国	▲27%	▲1%	▲18%	▲18%	▲16%	▲6%	▲30%	▲16%	+7%	▲12%	+17%	+32%	+3%	▲17%	+8%
その他のアジア	+15%	+5%	+18%	▲28%	▲0%	▲2%	▲4%	▲11%	+7%	▲3%	+14%	▲31%	+6%	+16%	▲2%

産業機器 / 機種別売上高・TMPリカーリング比率

【TMP】 半導体製造装置向けは減少したが、グリーン関連向け（薄膜太陽電池製造装置など）が増加し、3%増収

【油圧】 国内で建機、特装車両向け、北米で輸送機向けが増加し、3%増収

【その他】 EV用セラミック製造向け工業炉が増加し、6%増収

TMP売上高
前年同期比+9億円/+3%
319億円

- ・ SPE*向けはQoQでは30%増

TMPリカーリング比率
前年同期比+1pt（売上高+5億円）
16%

- ・ 中国・台湾で顧客カバー率向上により増加

油圧機器売上高
前年同期比 +5億円/+3%
157億円

その他機種売上高
前年同期比 +10億円/ +6%
178億円

ターボ分子ポンプ(TMP)



電源一体型



電源別置き型

油圧機器



ギヤポンプ

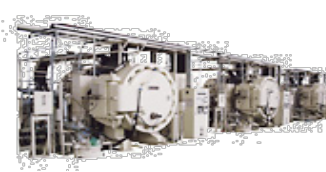


コントロールバルブ

その他



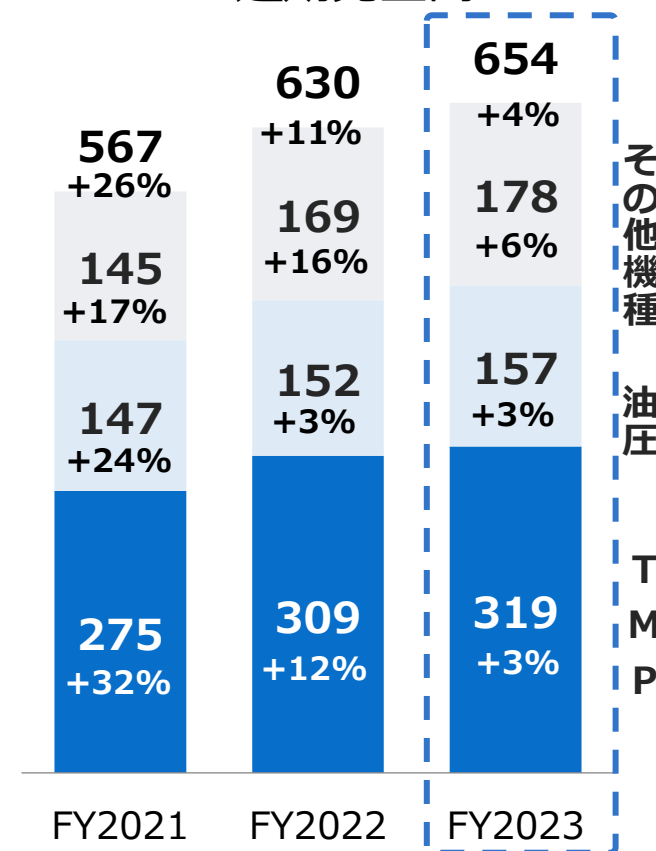
工業炉



ガラスワインダ

(億円)

通期売上高



%表記は前年同期比増減率

産業機器/機種別売上高前年同期比

TMP : SPE向けが増加
油圧 : 北米で産業車両向け増加
その他機種 : EV用セラミック製造向け工業炉が増加

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
TMP	+16%	+38%	+50%	+27%	+32%	+20%	+22%	+9%	+1%	+12%	▲3%	+0%	▲0%	+15%	+3%
油圧	+37%	+37%	+21%	+5%	+24%	▲1%	+1%	+3%	+10%	+3%	+10%	+8%	▲4%	+1%	+3%
その他	+33%	+32%	▲3%	+18%	+17%	+17%	+12%	+11%	+24%	+16%	▲2%	+2%	+10%	+11%	+6%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
TMP	+13%	+35%	+44%	+22%	+28%	+11%	+11%	▲1%	▲6%	+3%	▲7%	▲4%	▲4%	+6%	▲2%
油圧	+34%	+34%	+18%	+3%	+21%	▲6%	▲4%	▲2%	+7%	▲1%	+9%	+7%	▲6%	▲2%	+2%
その他	+32%	+30%	▲6%	+14%	+15%	+7%	+1%	+2%	+17%	+7%	▲4%	+1%	+8%	+6%	+3%

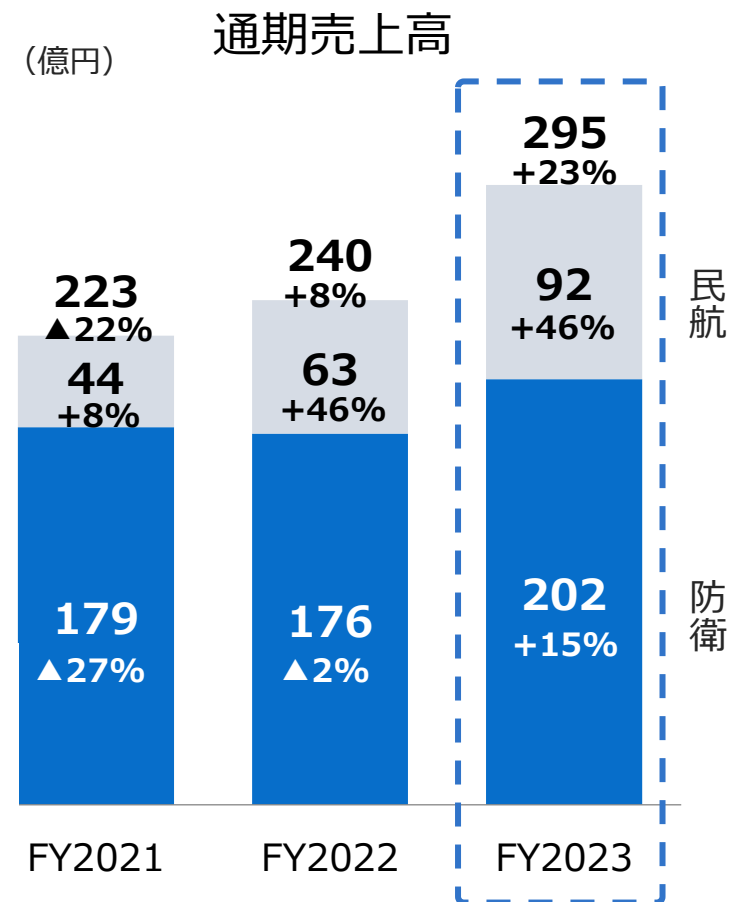
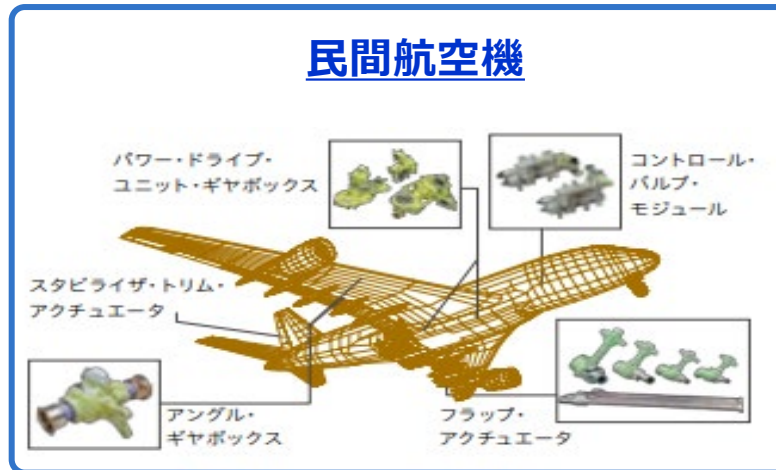
航空機器/分野別売上高

【防衛】 航空機用搭載品の需要拡大により、15%増収
 【民航】 航空旅客需要の回復による航空機増産や補用品の売上増により、46%増と大幅増収

防衛分野売上高
 前年同期比 +26億円/ +15%
202億円

- 航空機用搭載品の需要が拡大する中、売上平準化の取組を強化

民間航空機分野売上高
 前年同期比 +29億円/ +46%
92億円



%表記は前年同期比増減率

損益計算書 (1-3月)

売上高

前年同期比：+35億円/+2%

1,463億円

営業利益

前年同期比：▲4億円/▲2%

220億円

営業利益率

前年同期比：▲0.7pt

15.0%

当期純利益

前年同期比：+19億円/+12%

180億円

	単位：億円	第4四半期(1月-3月)		前年同期比	
		FY2022	FY2023	増減額	増減率
業績	売上高	1,428	1,463	+35	+2%
	営業利益	224	220	▲4	▲2%
	営業利益率	15.7%	15.0%	▲0.7pt	
	経常利益	226	240	+14	+6%
	親会社株主に帰属する当期純利益	161	180	+19	+12%
為替	平均為替レート：米ドル (円)	132.40	148.63	+16.23	+12%
	ユーロ (円)	142.17	161.37	+19.20	+14%
	研究開発費	54	61	+7	
	設備投資額	51	61	+10	
	減価償却費	46	47	+1	

為替影響額

売上高： **80**億円

営業利益： **27**億円

セグメント別損益（1-3月）

計測機器：増収減益

医用機器：減収増益

産業機器：増収増益
過去最高

航空機器：増収増益

単位：億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2022	FY2023	前年同期比		FY2022	FY2023	前年同期比		FY2022	FY2023	前年同期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	945	960	+15	+2%	195	167	▲27	▲14%	20.6%	17.4%	▲3.2pt
医用機器	225	216	▲8	▲4%	18	24	+6	+34%	7.9%	11.1%	+3.1pt
産業機器	167	184	+17	+10%	10	21	+11	+116%	5.9%	11.5%	+5.6pt
航空機器	77	86	+8	+11%	7	8	+1	+16%	9.2%	9.6%	+0.4pt
その他	14	17	+3	+19%	1	4	+2	+167%	6.7%	15.3%	+8.6pt
調整額	-	-	-	-	▲6	▲4	+2	-	-	-	-
合計	1,428	1,463	+35	+2%	224	220	▲4	▲2%	15.7%	15.0%	▲0.7pt

リカーリング比率

計測 : PCR試薬の減少などにより減少
 医用 : 北米・中国でメンテナンス・サービスが増加
 TMP : 中国・台湾で顧客カバー率向上により増加

計測	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
リカーリング売上高 前年同期比	+33%	+16%	+4%	+6%	+13%	▲6%	+5%	+21%	+11%	+10%	+10%	+3%	▲4%	▲2%	+1%
リカーリング比率	38%	35%	35%	35%	36%	39%	36%	40%	33%	37%	39%	35%	37%	34%	36%
医用	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
リカーリング売上高 前年同期比	+14%	+9%	+2%	+1%	+6%	▲2%	+3%	+0%	+3%	+3%	▲3%	▲7%	+1%	+0%	▲2%
リカーリング比率	38%	35%	39%	32%	36%	36%	32%	39%	30%	34%	42%	34%	37%	33%	36%
TMP	FY2021					FY2022					FY2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
リカーリング売上高 前年同期比	+18%	+11%	+15%	+5%	+12%	▲1%	▲6%	+4%	▲17%	▲4%	▲9%	▲8%	+10%	+36%	+6%
リカーリング比率	17%	17%	15%	15%	16%	15%	14%	16%	13%	15%	15%	14%	18%	17%	16%

※為替影響を除外